
2025年第三期AIオンデマンドバス 実証実験候補について

2025年11月26日
宮崎交通(株)

1. 宮交のるーとの背景と目的
2. 現在の実績について
3. 3エリア目の候補地について

1. 宮交のるーとの背景と目的

背景

- ・人口減少等により路線バスの利用者が年々低下している。また、物価高騰等により収支も年々厳しい状態に陥っている。
- ・運転士不足は年々深刻化。減便・廃止が全国的に課題となっており、宮崎でも課題となっている。運転士確保が地域交通維持の最重要課題となっている。

目的

- ①新規顧客の獲得
新しい路線バスの形態(エリア・時間・料金)による掘り起こし
- ②運転士不足の解消
普通2種免許と幅を広げることによって採用の裾野の拡大

※上記目的の達成のために・・・

2024年3月 恒久・田吉地区・・・実証実験運行開始

2025年3月 月見ヶ丘・源藤地区・・・実証実験開始

2025年4月 恒久・田吉地区・・・本運行開始

2-1. 運行マップ



2-2. 利用者実績(恒久・田吉地区 月別)

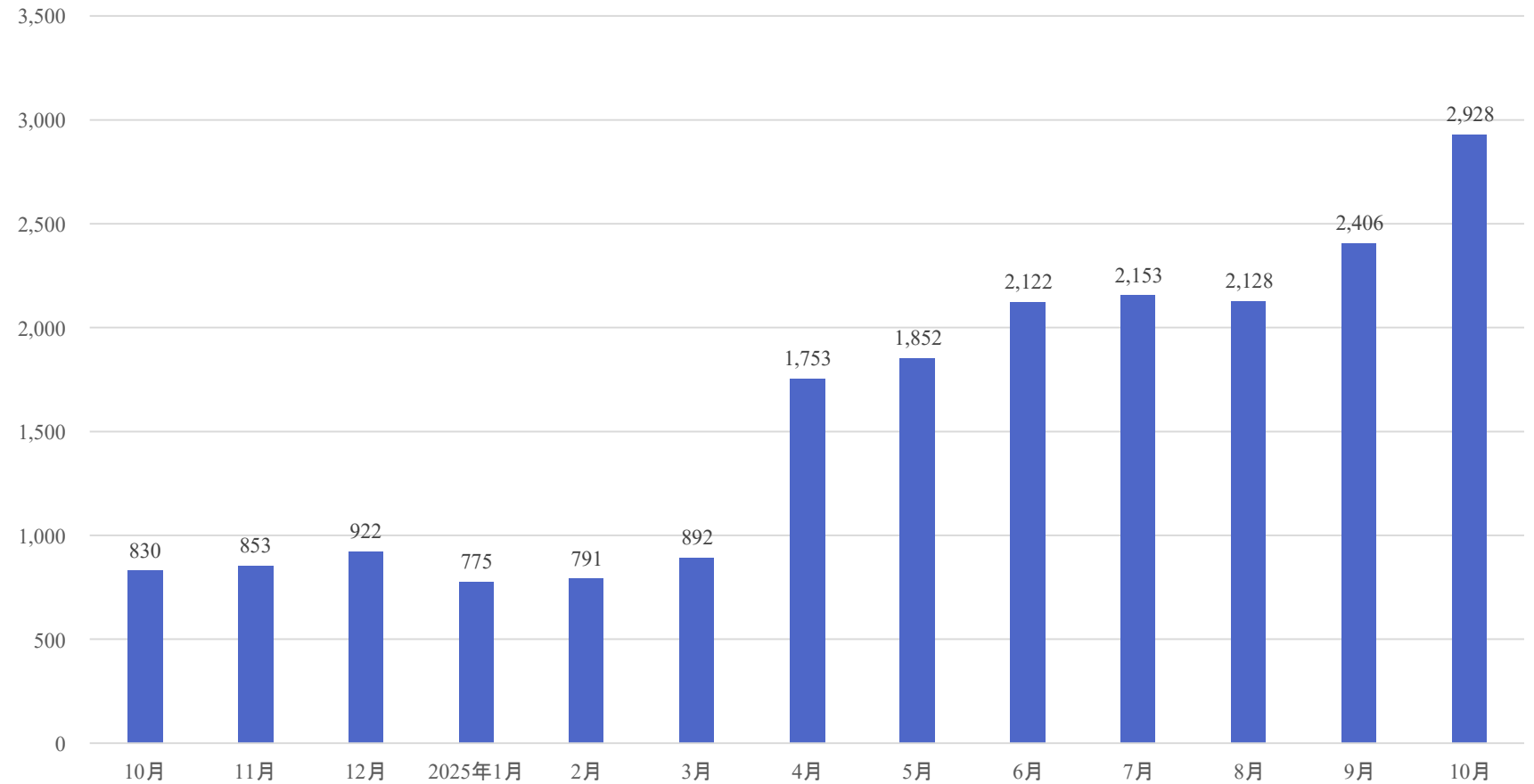
日当たり乗客者数

2024年

10月 26.7人 11月 28.4人
12月 29.7人

2025年

1月 25.0人 2月 28.4人
3月 28.7人 4月 58.4人
5月 59.7人 6月 70.7人
7月 71.7人 8月 68.6人
9月 80.2人 10月 97.6人

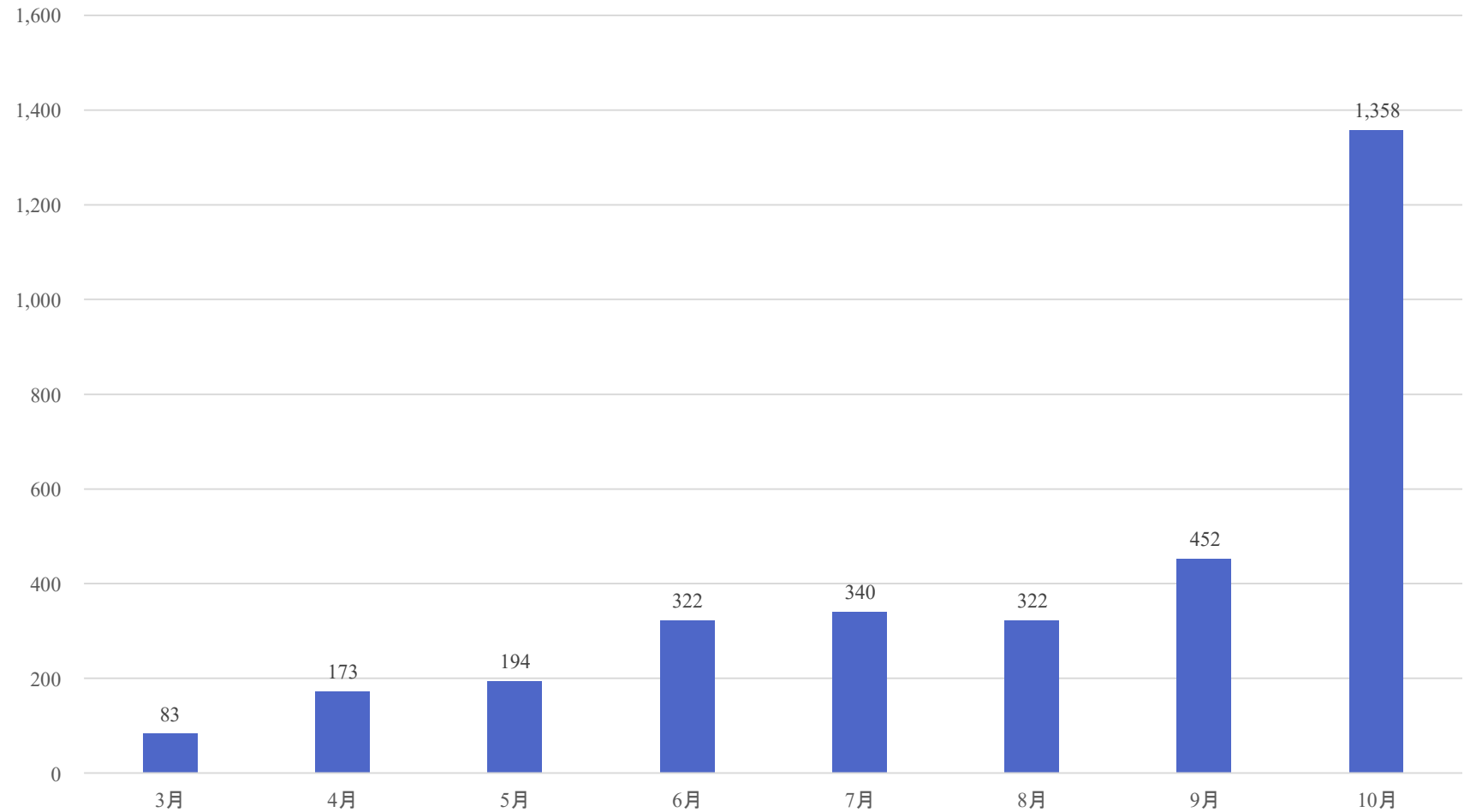


※2024年10月～2025年10月まで

2-3. 利用者実績（月見ヶ丘・源藤地区 月別）

日当たり利用者数

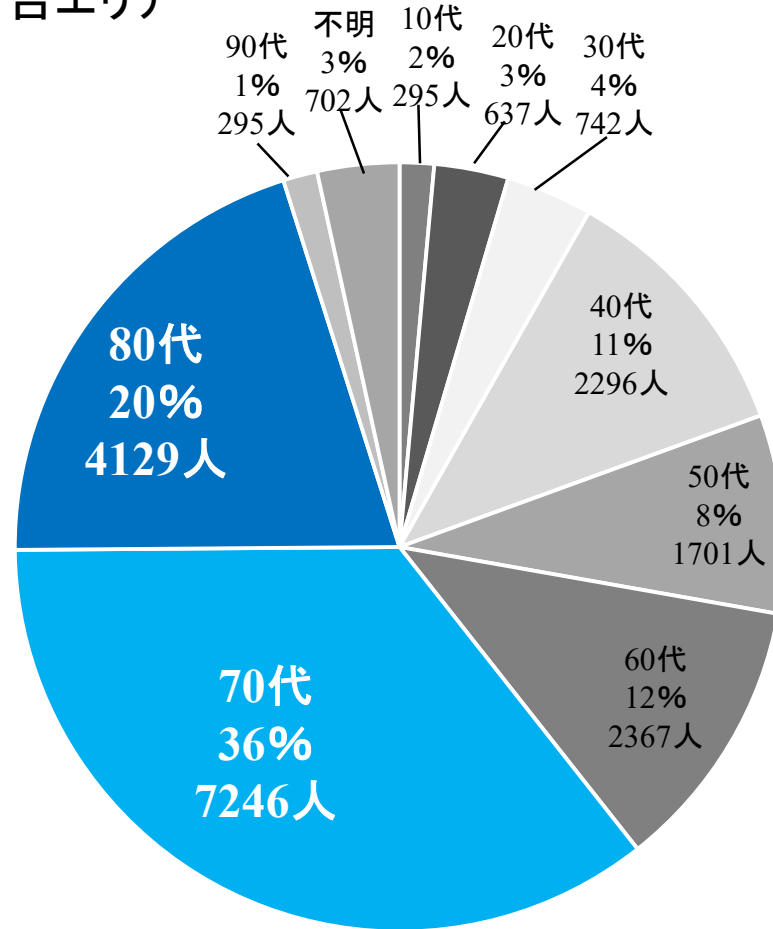
3月 2.7人 4月 5.8人
5月 6.3人 6月 10.7人
7月 11.3人 8月 10.3人
9月 15.0人 10月 45.2人



※2024年3月～2025年10月まで

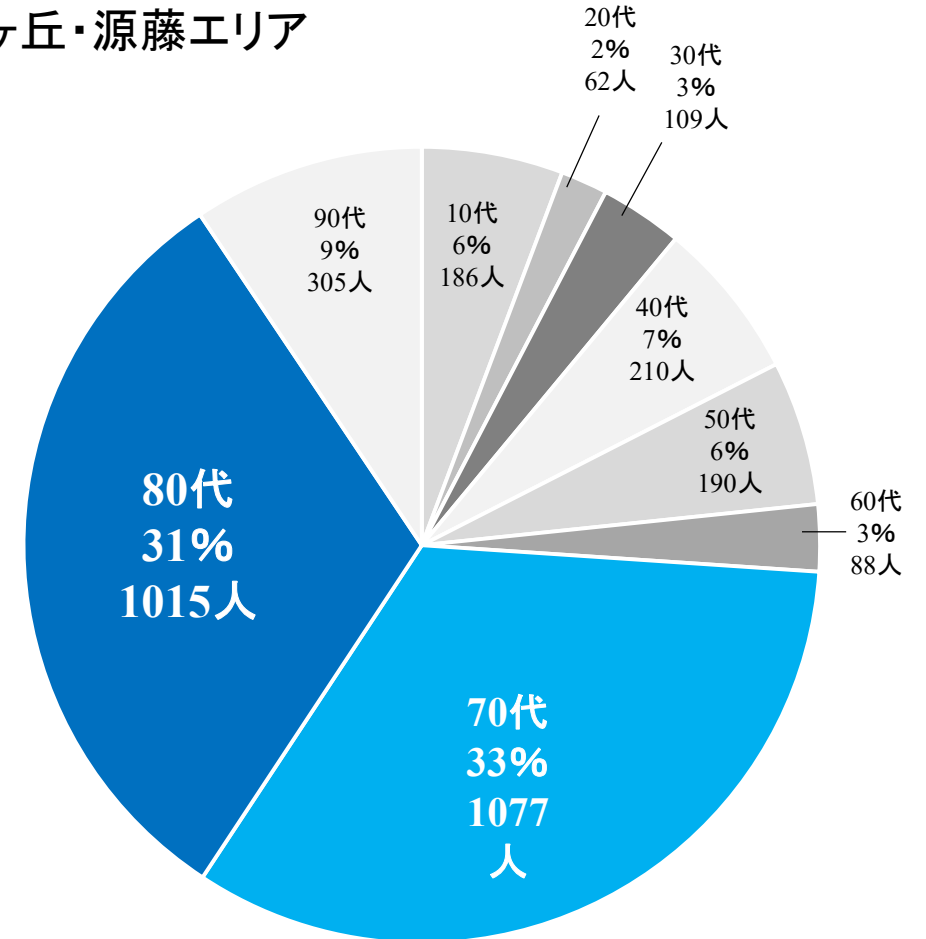
2-4. 利用者実績(年代別)

恒久・田吉エリア



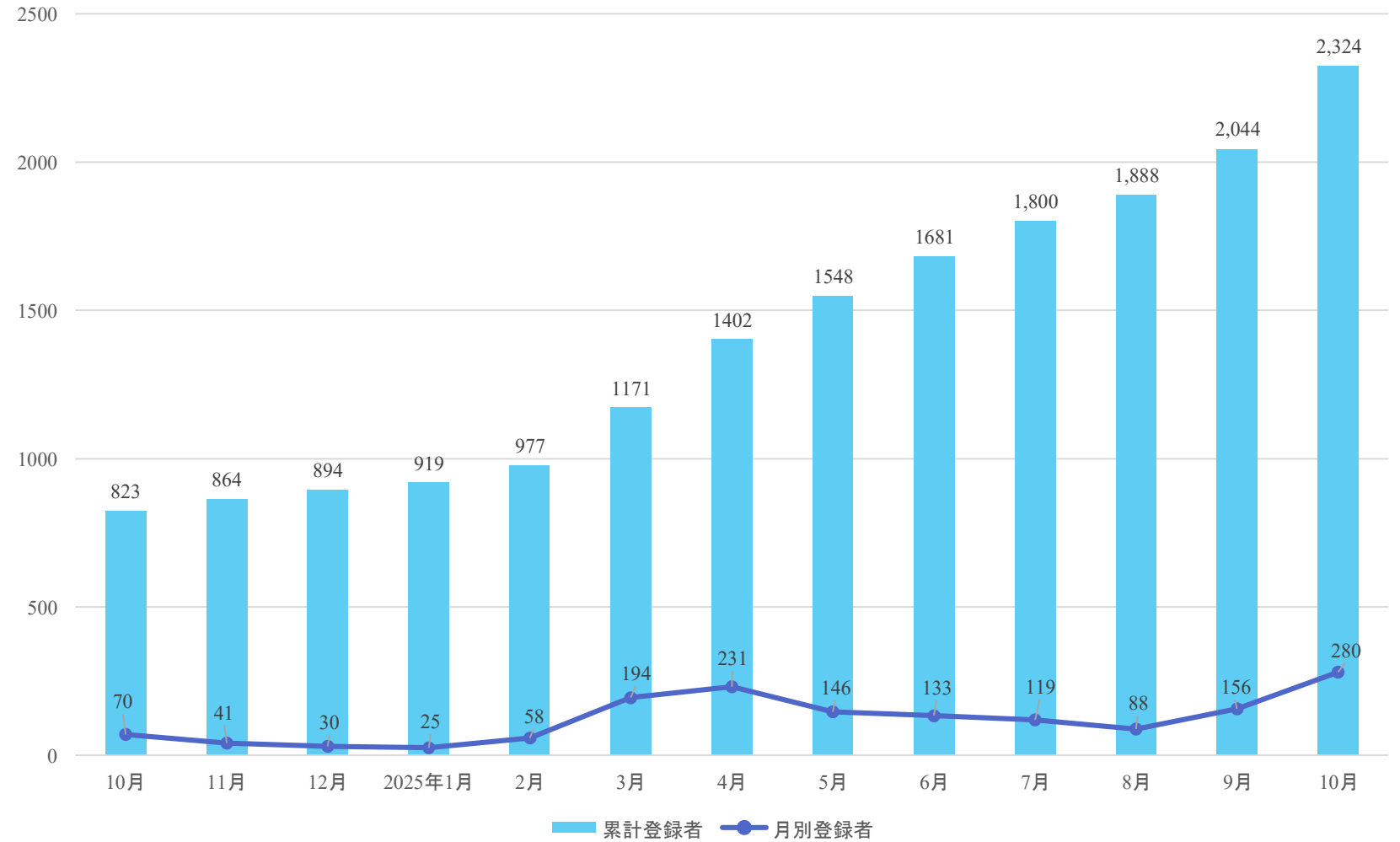
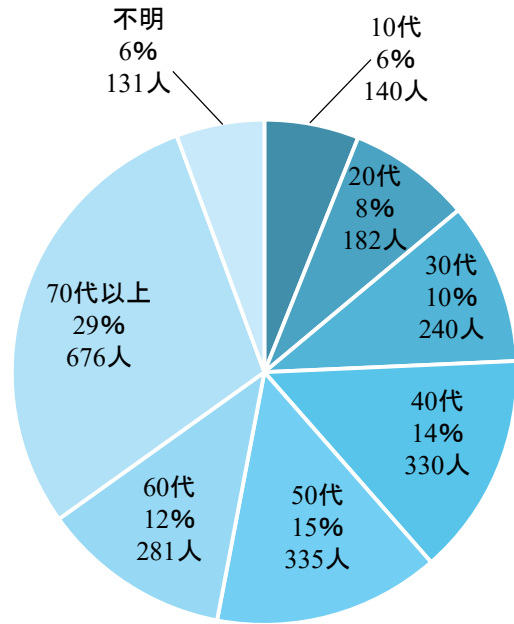
※2024年10月1日～2025年10月31日まで

月見ヶ丘・源藤エリア



※2024年3月～2025年10月まで

2-5. 登録者（月別・年代別）



※エリアごとの数値はシステム上出せないため恒久・田吉地区と月見ヶ丘・源藤エリアの両エリアを合わせた数値

3-1. 詳細と利用方法

運行区域: 希望ヶ丘・国富ヶ丘エリア(約3キロ平米)←域内移動含む→宮交シティ

運行期間: 2026年2月1日～2026年7月31日まで(予定)

運行時間: 9時～17時まで(期間中毎日運行)

車両 : ワンボックスワゴンタイプ10人乗り(運転士1名+利用者9人乗り)※助手席は利用しない

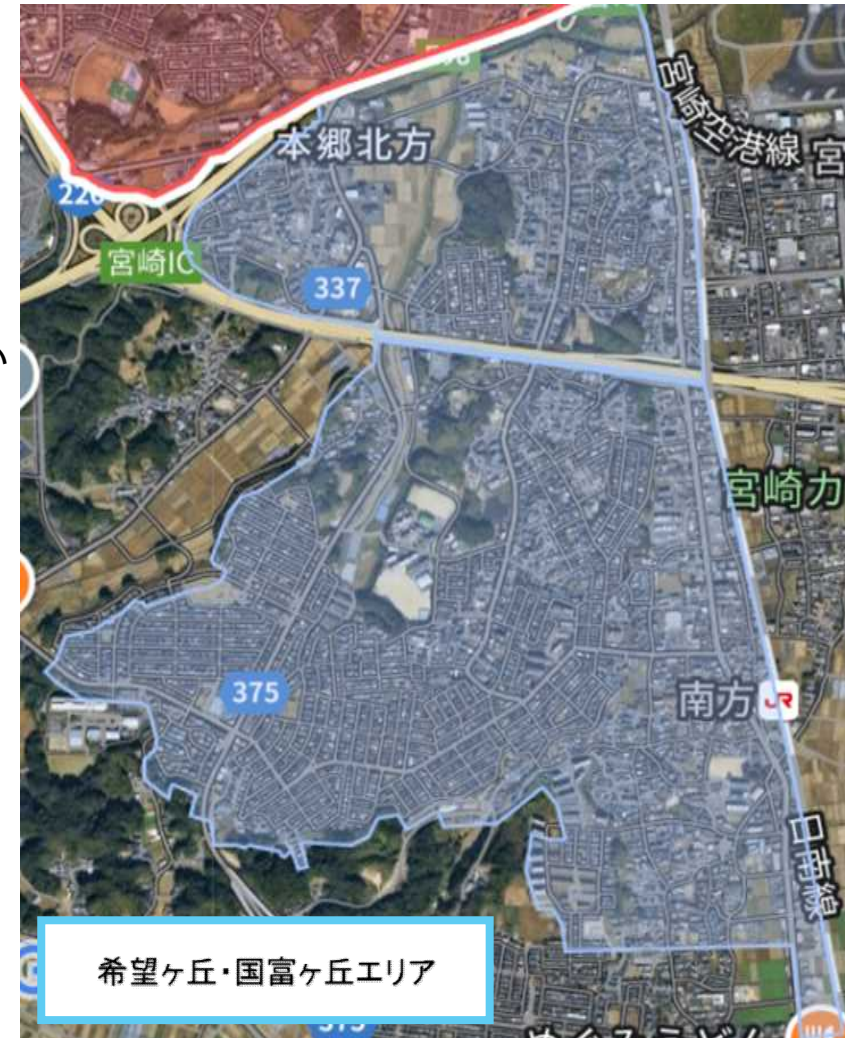
運用 : 希望ヶ丘・国富ヶ丘エリアと共通エリアのみ(一日2台運行)

運賃 : 希望ヶ丘・国富ヶ丘エリア内移動 1乗車 300円
共通エリアまでの移動 1乗車 500円(予定)

※小児割引・身障者割引あり(1/2)、幼児無料

予約方法: ①スマートフォンアプリからの予約(専用アプリ・LINE)
②電話受付による予約

決済手段: 現金
ICカード(ニモカ)によるSF決済
専用アプリによるオンラインクレジット決済



3-2. 選定理由

- 高齢化率が高いことから需要を見込める。
- 交通結末地（宮交シティ）へのアクセスが容易で中心地への移動接続を両立できる。
- のる一と運行地区が密集していることでより地域の交通手段としての定着が図れる
- 同一営業所区域内で運行することでより効率的な運行・運営が可能。（運転士・車両）



3-3. 設置予定ミーティングポイント

乗降拠点名	既存バス停	新規	備考	乗降拠点数
本郷団地入口	○			2
辻原	○			2
本郷1丁目	○(片停)			1
南ヶ丘幼稚園前	○(片停)		対面:システム設置	2
希望ヶ丘1丁目	○(片停)		対面:システム設置	2
国富小前	○			2
南辻原	○			2
国富ヶ丘団地下	○(片停)		対面:システム設置	2
国富ヶ丘団地西	○(片停)		対面:システム設置	2
国富ヶ丘団地北	○(片停)		対面:システム設置	2
国富ヶ丘団地南	○(片停)		対面:システム設置	2
まなび野1丁目	○			2
県立看護大学	○			2
希望ヶ丘2丁目	○			2
西希望ヶ丘	○(片停)		対面:システム設置 回転場	2
まなび野2丁目	○(片停)		対面:路面シート	2
まなび野センター	○			2
co-op前		○	敷地内設置	1
本郷小近辺		○	選定中	1
掩体壕前		○	敷地内設置	1

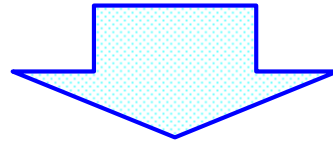
システム 7ヶ所
実物設置 28ヶ所
計 35ヶ所

※システム…データ上では乗降場所を設置するが、実際には目印を置かないポイント

共通エリア(+12か所)も運行可とする

課題

1. 高齢者による携帯予約のハードル（学生・若年層への携帯予約の利用促進）
2. 高齢者の乗り物という認識
3. 移動手段の減少（宮交シティへの移動手段）



課題1、2解決に向けた取組

- ・看護大あり ⇒ 学生需要の取込み（学生割引の作成等）
- ・説明会 & 登録会、体験会を勢力的に行う

課題3解決に向けた取組

- ・需要の多い交通結節点が遠い（約20分）
⇒ 宮交シティ（交通結節点）まで現在4本の路線バス1台をのる一とで2台運行することにより利便性が高まる

4-1. 今後のスケジュール

2025年	11月26日(水)	地域公共交通会議
	1月上旬～中旬	運輸支局に届け出
	1月中旬	プレスリリース
2026年	1月中旬～	住民説明(自治会単位・回覧板・HP・パンフレット等を実施予定)
	3月1日(日)	実証実験運行開始